

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

国

語

(200 点
+記述式の評価
100 分)

注 意 事 項

1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。文字は判読できるよう丁寧に記入しなさい。

2 この問題冊子は、52 ページあります。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。

3 記述式の解答は、一つのマス目に一文字ずつ楷書で記入しなさい。なお、問題冊子内の下書き欄を使用してもよいが、解答は必ず解答用紙に書きなさい。

4 マークシート式の解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしなさい。例えば、第2問の

1

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例1)のように問題番号

2

 の解答番号1の解答欄の③にマークしなさい。

(例1)

2	解 答 欄								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

また、「すべて選べ」や「二つ選べ」などの指示のある問いに対して、複数解答する場合は、同じ解答番号の解答欄に複数マークしなさい。例えば、第3問の

2

 と表示のある問いに対して①、④と解答する場合は、次の(例2)のように問題番号

3

 の解答番号2の解答欄の①、④にそれぞれマークしなさい。

(例2)

3	解 答 欄								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

6 問題冊子は最後に回収します。監督者の指示に従って返却しなさい。

第1問

青原高等学校では、部活動に関する事項は、生徒会部活動規約に則^{のど}つて、生徒会部活動委員会で話し合うことになっている。次に示すものは、その規約の一部である。それに続く【会話文】は、生徒会部活動委員会の執行部会で、翌週行われる生徒会部活動委員会に提出する議題について検討している様子の前半部分である。後に示す、執行部会で使用された【資料①】～【資料③】を踏まえて、各問(問1～3)に答えよ。

青原高等学校 生徒会部活動規約

第1章 総則

- 第1条 部は青原高等学校生徒会会員によって構成する。
第2条 部活動に関係する事項は生徒会部活動委員会で審議し、生徒総会の議決を経て職員会議に提案する。
第3条 生徒会部活動委員会は、生徒会本部役員と各部の部長によって構成する。
第4条 生徒会部活動委員会には、委員会の円滑な運営のため、次により構成する執行部を置く。
委員長 各部の部長のうちから1名
副委員長 生徒会本部役員のうちから1名
体育部代表 体育部の部長のうちから1名
文化部代表 文化部の部長のうちから1名

第2章 部の運営

- 第5条 部活動は部員の自主的活動によって部員の趣味・親睦を深めると同時に、人間性を高め、研究活動の充実、技術の向上を図ることを目的とする。
第6条 部活動として次の部を置く。
体育部 硬式野球部 ソフトボール部 サッカー部 剣道部
卓球部 バasketボール部 バドミントン部 テニス部
文化部 吹奏楽部 演劇部 茶道部 美術部 書道部 琴部
新聞部 科学部
第7条 会員は自由意志により所定の手続きをとり、どの部にも所属できる。
第8条 原則として、一人の会員が複数の部に所属すること(兼部)は禁止する。ただし、体育部と文化部との兼部については、双方の顧問の了解が得られれば可能とする。
第9条 各部は部長・副部長を選出する。
第10条 部活動の終了時間は17時とする。
第11条 休日、祝日は顧問が必要と認めた場合、顧問の指導のもとに、午前中又は午後の半日部活動を行うことができる。

第3章 部の新設・休部・廃部

- 第12条 部の新設は、同好会として3年以上活動していることを条件とする。
第13条 条件を満たし、部として新設を希望する同好会は、当該年度の4月第2週までに、所定の様式に必要事項を記入し、生徒会部活動委員会に提出することとする。なお、提出期限に遅れた場合、部の新設は次年度以降とする。
第14条 部の新設には、生徒総会において出席者の過半数の賛成を必要とする。
第15条 部員数が5名未満であり、その活動も不活発な状態が1年以上続いたと認められる場合、生徒会部活動委員会において審議の上、休部とする。
第16条 休部の状態が2年以上続いた場合、生徒総会の議決を経た後、廃部とする。

第4章 同好会

(以下略)

【会話文】

登場する人物

島崎——委員長。剣道部部长。

森——副委員長。生徒会副会長。新聞部部长。

永井——体育部代表。バドミントン部部长。

寺田——文化部代表。書道部部长。

夏目——教諭。生徒会顧問。

島崎

執行部会を始めましょう。今日の執行部会では、生徒会部活動委員会に提出する議題について検討します。まず何を議題とするかを考えていきましょう。最初に確認しておきますが、施設や設備の改修など、予算に関わるものは学校側に要望として提出し、委員会の議題にはしません。では、森さんから、提出したほうがよいと考える議題について説明をお願いします。

森

はい。では、【資料①】の中から、部活動委員会に関わりそうな議題を選ぶと、まず「ダンス部の設立」になりますね。

島崎

それは……、議題にならないのではないのでしょうか。

森

ええっ、なぜですか。

島崎

現在活動中の同好会は、「軽音楽同好会」だけだからです。「ダンス部」の設立希望があるのなら、規約どおりに進める必要があります。

森

ああ、そうでした。うっかりしていました。では、この件への回答になるように、来月発行の『青原高校新聞』の「生徒会からのコーナー」に、当該年度に部を新設するために必要な、申請時の条件と手続きを、分かりやすく載せておきます。

島崎

お願いします。では、引き続き、【資料①】を基に取り上げる議題を挙げていきましょう。

永井 【資料①】から考えると、まず取り上げる議題は「部活動の終了時間の延長」ですね。

島崎 そうですね。では、次に重要だと思われる議題は何でしょうか。

寺田 「兼部規定の見直し」です。

夏目 念のために確認しておくけれど、兼部については、双方の顧問の許可だけが必要になりますよ。

寺田 はい、見直しの内容は、あくまで双方の顧問の許可があることを前提にした上での、条件の緩和です。これまで認めら

れてこなかった ア という要望です。

島崎 なるほど、分かりました。昨年でも体育部・文化部の双方から同じような条件の緩和を求める声がありましたね。他にも議題は考えられますが、この二つについて検討していきましょう。では、まず「部活動の終了時間の延長」についての提案内容をまとめていきます。みなさんの考えを聞かせてください。

寺田 延長に賛成します。個人的にも、作品展の前は時間が足りないなあ、と思うんですよね。

永井 延長を認めてほしいです。いつもあと少しのところ赤雲学園に勝てないんです。

島崎 わたしも、せめて試合前には練習時間を延長してほしいと思っていますが、個人的な思いだけでは提案できません。何か参考になる資料はありませんか。

寺田 市内五校の部活動の終了時間がどうなっているか、まとめてみました。【資料②】です。

森 別の資料もあります。【資料③】です。新聞部が去年の「文化祭特別号」で、部活動についてまとめた記事です。

島崎 ありがとうございます。では、これらの資料を基にして、部活動の終了時間の延長を提案してみましよう。

森 ちょっと待ってください。提案の方向性はいいと思うのですが、課題もあると思います。

島崎 なるほど、そう判断される可能性がありますね。それでは、どのように提案していけばいいか、みんなで考えましよう。

イ

【資料①】

部活動に関する生徒会への主な要望

要望の内容	要望したクラス	生徒会意見箱に どうかん 投函された数
ダンス部の設立	1年A組 1年B組 1年C組	35通
部活動の終了時間の延長	1年D組 2年C組 2年D組	28通
シャワー室の改修	3年A組 3年B組	19通
照明機器の増設	2年A組 3年D組	15通
兼部規定の見直し	3年C組	25通
同好会規定の見直し	2年B組	13通

- ・投函された意見の総数は148通、そのうち部活動に関する要望は135通。
- ・今年度4月末の生徒総数は477人。各学年は4クラス。

【資料②】

市内5校の部活動の終了時間

高等学校名	通常時	延長時	延長に必要な条件
青原高等学校	17時00分	—	—
青春商業高等学校	17時00分	18時00分	大会・発表会等の前かつ顧問の許可
白鳥総合高等学校	18時30分	—	—
赤雲学園高等学校	17時00分	18時00分	顧問の許可
松葉東高等学校	17時00分	18時30分	顧問の許可

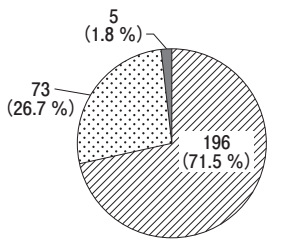
【資料③】

青原高校新聞 (平成28年 9月 7日 文化祭特別号 青原高等学校新聞部) 抜粋

青高生の主張

「部活動の充実」の内訳

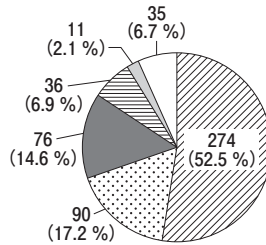
総回答数：274



- ▨ 部活動の終了時間の延長
- ▤ 兼部条件の緩和
- 外部指導者の導入

青原高校に求めるもの(複数回答可)

総回答数：522



- ▨ 部活動の充実
- 施設設備の充実
- ▤ 学校行事の改善
- ▨ 授業の工夫改善
- ▨ 教育相談の充実
- その他

第一位は「部活動の充実」

新聞部「青高アンケート」結果発表

先日、新聞部が実施した「青高アンケート」(七月十五日実施)の結果によると、学校側への要望で、最も多かったものは「部活動の充実」、二番目は「学校行事の改善」であった。

「部活動の充実」の内訳では、「部活動の終了時間の延長」という回答が最も多かった。これは、秋の新人戦・作品展に向けた練習・準備が活発化する中、近隣高校に比べて活動時間が短い、という思いの表れであろう。

硬式野球部主将の中野さんは、「青原高校の生徒は、部活動があるからといって授業をおろそかにするとは考えられない」と語る。また、吹奏楽部部長の樋口さんは、「部活動を一生懸命やりたい後輩は、白鳥総合高校を目指してしまいうから、ぜひ部活動の終了時間を延長してほしい」と訴えた。

しかし、部活動の終了時間の延長の実現には課題もある。青原市作成の「通学路安全マップ」によれば、本校の通学路は、歩道も確保できないほど道幅が狭い。また、交通量のピークは午前七時前後と午後六時前後とされている。生徒指導担当の織田先生は、「部活動の終了時間の延長を認めた場合、生徒の下校が集中する時間帯の安全確保に問題が生じるのではないか」と語っている。

問3 空欄

イ

について、ここで森さんは何と述べたと考えられるか。次の(1)～(4)を満たすように書け。

- (1) 二文構成で、八十字以上、百二十字以内で書くこと(句読点を含む)。なお、会話体にしなくてよい。
- (2) 一文目は「確かに」という書き出しで、具体的な根拠を二点挙げて、部活動の終了時間の延長を提案することに対する基本的な立場を示すこと。
- (3) 二文目は「しかし」という書き出しで、部活動の終了時間を延長するという提案がどのように判断される可能性があるか、具体的な根拠と併せて示すこと。
- (4) (2)・(3)について、それぞれの根拠はすべて【資料①】～【資料③】によること。

(次は問3の下書き欄。解答は必ず解答用紙に書くこと。)

		80						5
120			75					15

第2問

次の文章と図表は、宇杉和夫^{うすぎわすお}「路地がまちの記憶をつなぐ」の一部である。これを読んで、後の問い(問1～5)に答えよ。なお、表1、2及び図3については、文章中に「(表1)」などの記載はない。

表1

	近代道路空間計画システム	路地空間システム(近代以前空間システム)
主体	クルマ・交通	人間・生活
背景	欧米近代志向	土着地域性
形成	人工物質・基準標準化	自然性・多様性・手づくり性
構造	機能・合理性・均質性	A 機縁物語性・場所性・領域的
空間	B 広域空間システム・ヒエラルキー	地域環境システム・固有性
効果	人間条件性・国際普遍性	人間ふれあい性・地域文化継承

近代空間システムと路地空間システム

訪れた都市の内部に触れたと感じるのは、まちの路地に触れたときである。そこには香りがあって、固有で特殊でありながら、かつどこかで体験したことのある記憶がよぎる。西欧の路地は建物と建物のすきまで、さまざまなはみ出しものがなく管理されている。路地と内部空間との結びつきは窓とドアにより単純である。日本の路地は敷地と敷地の間にあり、また建物と建物の間にあり、建物には出窓あり、掃き出し窓あり、縁あり^{ひしき}庇あり、塀あり等、多様で複雑である。敷地の中にも建物の中にも路地(土間)はあった。

日本の路地空間には西欧の路地にはない自然性がある。物質としての自然、形成過程としての自然、の2つである。日本の坪庭^(注1)を考えてみよう。やはり建物(4つ)に囲まれた坪庭の特徴はそこが砂や石や土と緑の自然の空間である。さらにその閉じた自然は床下を通って建物外部にもつながっている。日本の路地にも、坪庭のように全面的ではないが自然性が継承されている。また路地空間の特徴は、ある数戸が集まった居住建築の中で軒や縁や緑の重なった通行空間であることである。そこは通行空間であるが居住集合のウチの空間であり、その場所は生活領域としてのまとまりがある。ソトの空間から区切られているが通行空間としてつながるこの微妙な空間システムを継承するには物理的な仕組みの継承だけでなく、近隣コミュニティの中に相関的秩序があり、通行者もそれに対応できているシステムがある。

表 2

	地形と集落の路地			
	低地の路地	台地の路地	地形の縁・境界	丘陵・山と路地
非区画型路地 (オモテウラ型) (クルドサック型)	水路と自由型	トオリとウラ道	山辺路地・崖縁路地 崖(堤)下路地・階段路地 行き当たり封鎖	丘上集 崖上路地 景観と眺望
区画内型路地 (パッケージ型)	条理区画 条坊区画 近世町家区画 耕地整理 土地区画整理	条理区画 条坊区画 近世町家区画 耕地整理 土地区画整理		

現在、近代に欧米から移入され、日本の近代の中で形成されてきた都市空間・建築空間システムが環境システムと併せて改めて問われている。しかし日本にもち込まれた近代は、明治開国まではその多くは東南アジア、東アジアで変質した近代西欧文化で融和性もあった。明治に至って急速な欧米文化導入の後の日本の近代の空間計画を見れば、路地空間、路地的空間システムは常に、大枠として近代の空間システムと対照的位置にあることが理解できる。近代の空間計画の特徴を産業技術発展と都市化と近代社会形成の主要3点についてあげれば、その対照に路地空間の特徴をあげることは容易である。すなわち、路地的空間、路地的空間システムについて検討することは近代空間システムとは異なる地域に継承されてきた空間システムについて肯定的に検討することになる。

路地の形成とは記憶・持続である

路地的空間について述べる基本的な視座に、「道」「道路」の視座と「居住空間」の視座があり、どちらか片方を省くことはできない。道・道路は環境・居住空間の基本的な要素である。その環境・都市は人間を総体的に規定し、文化も個も環境の中から生まれてきた。行動を制約してしまう環境としての住宅と都市、その正しい環境、理想環境とは何かをどう問いかけるか。これが西欧の都市は古代以来明確であった。都市は神の秩序で、神と同じ形姿をもつ人間だけが自然の姿と都市の姿を生活空間として描くことができた。

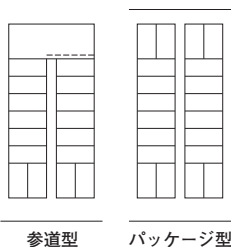
これに対し、日本とアジアの都市の基本的性質である「非西欧都市」の形成を近代以前と近代に分けて、その形成経過を次の世代にどう説明・継承するのか、すなわちどう持続させていくのが重要である。そして体験空間の形成・記憶の継承と路地的空間の持続はこの大事な現在の問題の骨格

図 1



◎参道型路地的空間
東京・神田のしゅう祠には、その手前の街区に参道型路地的空間が発見できた

図 2



◎参道型路地空間とパッケージ型路地空間
月島の通り抜け路地は典型的なパッケージ型路地である

図 3



◎東京・江東区の街区形成と通り
自動車交通、駐車スペースに不
らずガランとした通りもある

になり続けるものと考えられることができる。この根本的な次元では現在の区画化された市街地形成のモデルだけでなく、その形成過程の記憶、原風景をも計画対象とすることが必要になっている。元来、日本の自然環境(自然景観)はアジアが共有する自然信仰の認識的な秩序の中にあった。日本のムラとマチは西欧と異なり、環境としての自然と一体的であり連続的關係であったのである。具体的には、周囲の(中心である)山と海に生活空間が深く結びついていた。結果として、路地は地形に深く結びついて継承されてきた。

まず、日本の道空間の原型・原風景は区画された街区にはないことを指摘したい。また「すべての道はローマに通ず」といわれ、ローマから拡大延長された西欧の道路空間と、日本の道空間は異なる。目的到着点をもつ参道型空間が基本であり、地域内の参道空間から折れ曲がって分かれ、

(注2)

より広域の次の参道空間に結びつく形式で、西欧のグリッド形式、放射形式の道路とは異なる(図1)。多くの日本のまちはこの参道空間の両側の店と住居とその裏側の空間からなり、その間に路地がある。これは城下町にも組み込まれてすきまとしての路地があるゆえに連続的、持続的であったと考えられるわけである。それによって面的に広がった計画的区画にある路地は同様のものが繰り返し連続するパッケージ型路地として前者の参道型路地、クルドサック型路地と区分できる(図2)。

(注3)

この区画方形のグリッドの原型・原風景はどこか。ニューヨークはそのグリッド街路の原型をギリシャ都市に求め、近代世界の中心都市を目指した。アジアの都市にはそれとは異なる別の源流がある。日本の都市はこの区画街区に限らず、アジアの源流と欧米の源流の重複的形式の空間形成になっている。日本の路地は計画的な区画整形の中にあっても、そこに自然尊重の立場が基本にあり、その基盤となってきた。

図 4



◎東京・江東区の街区の中の路
地
区画整理街区にも路地的空間が
まちの特性をつくっている

日本にも西欧にも街区形式の歴史と継承がある。東京にも江戸から継承された街区がある。江東区の方形整形街区方式は掘割(注4)とともに形成された。自由型の水路に沿った路地と同様、区画整形街区も水面に沿った路地と接して形成されてきた。この方形形式は震災復興区画整理事業でも、戦災後の復興計画でも継続された。ここは近代の、整形を基本とする市街地整備の典型となるものである。しかし、そこに理想とした成果・持続が確認できるであろうか(図4)。

東京の魅力ある市街地としては地形の複雑な山の手に評価がある。山の手では否応なく地形、自然が関連する。しかし区画整形の歴史がある江東区では、計画が機能的・経済的に短絡されてきた。その中で自然とのつながりをもつ居住区形成には、水面水路との計画的な配慮が必要だった。単に区画整形するだけでは魅力ある住宅市街地は形成されない。その計画的な配慮とは、第1に地区街区の歴史的な空間の記憶を人間スケールの空間にして継承する努力である。体験されてきた空間を誇りをもって継承する意思である。路地的空間の継承である。これらを合理的空間基準が変革対象としてきたことに問題がある。この新区画街区の傍らに、水資源活用から立地した工場敷跡地が、水辺のオープンスペースと高層居住の眺望・景観を売りものに再開発されれば、住宅需要者の希望は超高層マンションに向かい、街区中層マンションが停滞するのは当然のことである。

この2タイプに対して、向島地区の路地的空間は街区型でもなく、開放高層居住空間でもなく、自然形成農道等からなる地域継承空間システムの中の文脈の中にある(図5)。そしてそこでもまた居住者の評価が高まってきている。本来、地域に継承されてきた空間システムであれば、それは計画検討課題になり、結果がよければビジョンの核にもなるものであった。ところが現実には、地域の継承空間システムは居住者の持続的居住欲求によって残り、また地域の原風景に対する一般人の希求・要求によって、結果として継承に至ったものが多く、計画的にはあくまで変革すべき対象で

図 5



◎東京・墨田区向島の通り
向島の通り空間はカーブしてま
ちの特性となっている

あった経過がある。計画とはあくまで欧米空間への追従であった。また、この地域継承の路地空間システム居住地区においても駅前や北側背後に水面をもつ地区において高層マンションも含む再開発が進行している。しかし、この再開発もル・コルビュジエの高層地区提案のように、地区を全面的に変革するものではなく、路地的空間との関係こそが計画のテーマとなる方法論が必要である。路地的空間をもつ低層居住地区にするか、外部開放空間をもつ高層居住地区にするかといった二者択一ではなく、地域・地区の中で両空間モデルが補完・混成して成立するシステムが残っている。地域の原風景、村の原風景は都市を含めてあらゆる地域コミュニティの原点である。その村（集落）の原風景がほとんど消滅しているが、家並みと路地と共同空間からなる村とまちの原風景は、現在のストックの再建に至った時には、すべての近代空間計画地の再生にあたって、可能性を検討すべきである。都市居住にとつても路地はふれあいと場所の原風景である。近代化の中でこそ路地の原風景に特別な意味があったとすれば、それは日本の近代都市計画を継承する新たな時代の1つの原点にもなるべきものである。

（宇杉和夫他『まち路地再生のデザイン——路地に学ぶ生活空間の再生術』による。
なお、一部表記を改めたところがある。）

（注）

- 1 坪庭——建物に囲まれた小さな庭。
- 2 グリッド——格子。
- 3 クルドサック——袋小路。
- 4 掘割——地面を掘って作った水路。江東区には掘割を埋め立てて道路を整備した箇所がある。
- 5 ル・コルビュジエ——スイス生まれの建築家（一八八七～一九六五）。

問1 文章全体の内容に照らした場合、表1の傍線部A・Bはそれぞれどのように説明できるか。最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

1

 ・

2

。

A 機縁物語性

1

- ① 通行空間に緑を配置し、自然の大切さを認識できる環境に優しい構造。
- ② 生活者のコミュニティが成立し、通行者もそこに参入できる開放的な構造。
- ③ 生活環境としてまとまりがあり、外部と遮断された自立的な構造。
- ④ ウチとソトの空間に応じて人間関係が変容するような、劇的な構造。
- ⑤ 通行空間から切り離すことで、生活空間の歴史や記憶を継承する構造。

B 広域空間システム

2

- ① 中心都市を基点として拡大延長された合理的空間システム。
- ② 区画整理されながらも原風景を残した近代的空間システム。
- ③ 近代化以前のアジア的空間と融合した欧米的空間システム。
- ④ 産業技術によって地形を平らに整備した均質的空間システム。
- ⑤ 居住空間を減らして交通空間を優先した機能的空間システム。

問2 図2の「パッケージ型」と「参道型」の路地の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号

は 3。

- ① パッケージ型の路地とは、近代道路空間計画システムによって区画化された車優先の路地のことであり、参道型の路地とは、アジアの自然信仰に基づいた、手つかずの自然を残した原始的な路地を指す。
- ② パッケージ型の路地とは、区画整理された路地が反復的に拡張された路地のことであり、参道型の路地とは、通り抜けできない目的到着点を持ち、折れ曲がって持続的に広がる、城下町にあるような路地を指す。
- ③ パッケージ型の路地とは、ローマのような中心城市から拡大延長され一元化された路地のことであり、参道型の路地とは、ほろ祠のような複数の目的到達地点によって独自性を競い合うような日本的な路地を指す。
- ④ パッケージ型の路地とは、ギリシャの都市をモデルに発展してきた同心円状の幾何学的路地のことであり、参道型の路地とは、通行空間と居住空間が混然一体となって秩序を失ったアジア的な路地を指す。
- ⑤ パッケージ型の路地とは、通り抜けできる路地と通り抜けできない路地が繰り返し連続する路地のことであり、参道型の路地とは、他の路地と連続的、持続的に広がる迷路のような路地を指す。

問3 図3の江東区の一画は、どのように整備された例として挙げられているか。その説明として最も適当なものを、次の①～

⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 4。

- ① 街区の一部を区画整理し、江戸の歴史的な町並みを残しつつ複合的な近代の空間に整備された例。
- ② 区画整理の歴史的な蓄積を生かし、人間スケールの空間的記憶とその継承を重視して整備された例。
- ③ 江戸から継承された水路を埋め立て、自動車交通に配慮した機能的な近代の空間に整備された例。
- ④ 掘割や水路を大規模に埋め立て、オープンスペースと眺望・景観を売りものにして整備された例。
- ⑤ 複雑な地形が連続している地の利を生かし、江戸期の掘割や水路に沿った区画に整備された例。

問4 「路地空間」・「路地的空間」はどのような生活空間と捉えられるか。文章全体に即したまとめとして適当なものを、次の

① ～ ⑥のうちから二つ選べ。解答番号は

5

。

- ① 自然発生的に区画化された生活空間。
- ② 地形に基づいて形成された生活空間。
- ③ 大自然の景観を一望できる生活空間。
- ④ 都市とは異なる自然豊かな生活空間。
- ⑤ 通行者の安全性を確保した生活空間。
- ⑥ 土地の記憶を保持している生活空間。

問5 まちづくりにおける「路地的空間」の長所と短所について、緊急時や災害時の対応の観点を加えて議論した場合、文章全体

を踏まえて成り立つ意見はどれか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 6。

- ① 機能性や合理性を重視する都市の生活にあつて、路地的空間は緊急時の対応を可能にする密なコミュニティを形成するという長所がある。一方、そうした生活境域としてのまとまりはしばしば自然信仰的な秩序とともにあるため、近代的な計画に基づいて再現することが難しいという短所がある。
- ② 日本の路地的空間は欧米の路地とは異なり、自然との共生や人間同士のふれあいを可能にするという長所がある。一方、自然破壊につながるような区画整理を拒否するため、居住空間と通行空間が連続的に広がらず、高齢の単身居住者が多くなり、災害時や緊急時において孤立してしまうという短所がある。
- ③ 豊かな自然や懐かしい風景が残っている路地的空間は、持続的に住みたいと思わせる生活空間であり、相互扶助のコミュニティが形成されやすいという長所がある。一方、計画的な区画整理がなされていないために、災害時には、緊急車両の進入を妨げたり住民の避難を困難にしたりする短所がある。
- ④ 路地的空間には、災害時の避難行動を可能にする機能的な道・道路であるという点で、近代的な都市の街区にはない長所がある。一方、都市居住者にとって路地的空間は地域の原風景としてばかり捉えられがちで、そうした機能性が合理的に評価されたり、活用されたりしにくいという短所がある。
- ⑤ 再開発を行わず近代以前の地域の原風景をとどめる低層住宅の路地的空間は、コミュニティとしての結束力が強く、非常事態においても対処できる長所がある。一方、隣接する欧米近代志向の開放高層居住空間のコミュニティとは、価値観があまりにも異なるために共存できないという短所がある。

第3問

次の文章は、複数の作家による『捨てる』という題の作品集に収録されている光原百合みつはらゆりの小説「ツバメたち」の全文である。この文章を読んで、後の問い(問1～5)に答えよ。なお、本文の上の数字は行数を示す。

1 へ一羽のツバメが渡りの旅の途中で立ち寄った町で、「幸福な王子」と呼ばれる像と仲良くなった。王子は町の貧しい人々の暮らしぶりをツバメから聞いて心を痛め、自分の体から宝石や金箔きんぱくを外して配るよう頼む。冬が近づいても王子の願いを果たすためにその町にとどまっていたツバメは、ついに凍え死んでしまった。それを知った王子の心臓は張り裂けた。金箔をはがされてみすばらしい姿になった王子の像は溶かされてしまうが、二つに割れた心臓だけはどうしても溶けなかった。ツバメの死骸と王子の心臓は、ともにゴミ捨て場に捨てられた。その夜、「あの町からもつとも尊いものを二つ持ってきてきなさい」と神に命じられた天使が降りてきて、ツバメと王子の心臓を抱き、天国へと持ち帰ったのだった。

オスカー・ワイルド作「幸福な王子」より

A 遅れてその町にやってきた若者は、なんとも風変わりだった。

10 つやのある黒い羽に敏捷びんせうな身のこなし、実に見た目のいい若者だったから、南の国にわたる前、最後の骨休めをしながら翼の力をたくわえているあたしたちの群れに、問題なく受け入れられた。あたしの友だちの中にも彼に興味を示すものは何羽もいた。でも、彼がいつも夢のようなことばかり語るものだから——今まで見てきた北の土地について、これから飛んでいく南の国について、遠くを見るようなまなざしで語るばかりだったから、みんなそのうち興味をなくしてしまった。来年、一緒に巣をこしらえて子どもを育てる連れ合いには、そこらを飛んでいる虫を素早く見つけてたくさんつかまえてくれる若者がふさわしい。遠くを見るまなざしなど必要ない。

15 とはいえ嫌われるほどのことではないし、厳しい渡りの旅をともにする仲間が多いに越したことはないので、彼はあたしたちとそのまま一緒に過ごしていた。

20 そんな彼が翼繁つばく通っていたのが、丘の上に立つ像のところだった。早くに死んでしまった身分の高い人間、「王子」と人間たちは呼んでいたが、その姿に似せて作った像だということだ。遠くからでもきらきら光っているのは、全身に金が貼ってあって、たいそう高価な宝石も使われているからだという。あたしたちには金も宝石も用はないが。

人間たちはこの像をひどく大切にしているようで、何かといえばそのまわりに集まって、列を作って歩くやら歌うやら踊るやら、(ア)ギョウギョウしく騒いでいた。

彼はその像の肩にとまって、あれこれとおしゃべりするのが好きなようだった。王子の像も嬉うれしそうに応じていた。

25 「一体何を、あんなに楽しそうに話しているの？」

彼にそう聞いてみたことがある。

「僕の見てきた北の土地や、まだ見ていないけれど話に聞く南の国のことをね。あの方はお気の毒に、人間として生きていらした間も、身分が高いせいでもいつもお城の中で守られていて、そう簡単にはよその土地に行けなかったんだ。憧れていた遠い場所の話聞けるのが、とても嬉しいと言ってくださってる」

30 「そりゃよかったわね」

あたしたちには興味のない遠い土地の話が、身分の高いお方とやらには嬉しいのだろう。誇らしげに話す彼の様子が腹立たしく、あたしはさっさと朝食の虫を捕まえて飛び立った。

やがて彼が、王子と話すだけでなく、そこから何かをくわえて飛び立って、町のあちこちに飛んでいく姿をよく見かけるようになった。南への旅立ちも近いというのに一体何をしているのか、あたしには不思議でならなかった。

35

風は日増しに冷たくなっていた。あたしたちの群れの長老が旅立ちの日を決めたが、それを聞いた彼は、自分は行かない、と答えたらしい。自分に構たわず発たってくれと。

仲間たちは皆、彼のことは放っておけと言ったが、あたしは気になった。いよいよ明日は渡りに発つという日、あたしは彼をつかまえ、逃げられないよう足を踏んづけておいてから聞いた。ここで何をしているのか、なにをするつもりなのか。

40 彼はあたしの方は見ずに、丘の上の王子の像を遠く眺めながら答えた。

「僕はあの方を飾っている寶石を外して、それから体に貼ってある金箔をはがして、貧しい人たちに持って行っているんだ。あの方に頼まれたからだ。あの方は、この町の貧しい人たちが食べ物も薪まきも買えずに苦しんでいることを、ひどく気にしておられる。こんな悲しいことを黙って見ていることはできない、けれど自分は台座から降りられない。だから僕にお頼みになった。僕が寶石や金箔を届けたら、おなかをすかせた若者がパンを、凍える子どもが薪を、病気の年寄りが薬を買うことができるとだ」

あたしにはよくわからなかった。

「どうしてあなたが、それをするの？」

「誰かがしなければならぬから」

50 「けど、どうしてあなたが、その『誰か』なの？ なぜあなたがしなければならぬの？ ここにいたのでは、長く生きられないわよ」

あたしは重ねて聞いた。彼は馬鹿にしたような目で、ちらっとあたしを見た。

「君なんかには、僕らのやっていることの尊Bさは わからないさ」

55 腹が立ったあたしは「勝手にすれば」と言って、足をのけた。彼ははばたいて丘の上へと飛んで行った。あたしはそれをただ見送った。

長い長い渡りの旅を終え、あたしたちは南の海辺の町に着いた。あたしは数日の間、海を見下ろす木の枝にとまって、沖のほうを眺めていた。彼が遅れて飛んで来はしないかと思ったのだ。しかし彼が現れることはなく、やがて嵐がやって来て、数日の

間海を閉ざした。

60 この嵐は冬の (イ) トウライを告げるもので、北の町はもう、あたしたちには生きていけない寒さになったはずだと、年かさのツバメたちが話していた。

彼もきつと、もう死んでしまっているだろう。

彼はなぜ、あの町に残ったのだろうか。貧しい人たちを救うため、自分ではそう思っていただろう。あたしなどにはそんな志はわからないのだと。でも本当のところは、大好きな王子の喜ぶ顔を見たかっただけではないか。

そうして王子はなぜ、彼に使いを頼んだのだろう。貧しい人たちを救うため、自分ではそう思っていただろう。でも……。

65 まあいい。どうせあたしには ^C わからない、どうでもいいことだ。春になればあたしたちは、また北の土地に帰っていく。

あたしはそこで、彼のような遠くを見るまなざしなど持たず、近くの虫を見つけてせっせとつかまえ、子どもたちと一緒に育ててくれる若者とシヨ (ウ) タイを持つことだろう。

それでも、もしまた渡りの前にあの町に寄って「幸福な王子」の像を見たら、聞いてしまうかもしれない。

70 あなたはただ、自分がまもっていた重いものを、捨てたかっただけではありませんか。そして、命を捨てても自分の傍そばにいた
いと思う者がただひとり、いてくれればいいと思っただけではありませんか——と。

(光原百合他『捨てる』による。)

問 1 傍線部(ア)～(ウ)に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

①
③

(ア) ギョウギョウしく

①

- ⑤ 会社のギョウセキを掲載する
 ④ クギョウに耐える
 ③ 思いをギョウシクした言葉
 ② イギョウの鬼
 ① ギョウテンするニュース

(イ)

トウライ

②

- ⑤ 孤軍フントウ
 ④ 本末テントウ
 ③ トウイ即妙
 ② 用意シユウトウ
 ① 不偏フトウ

(ウ)

シヨタイを持つ

3

- ① アクタイをつく
- ② 新たな勢力のタイトウ
- ③ タイマンなプレー
- ④ 家庭のアンタイを願う
- ⑤ 秘書をタイドウする

問2

傍線部A「遅れてその町にやってきた若者は、なんとも風変わりだった。」にある「若者」の「風変わり」な点について説明する場合、本文中の波線を引いた四つの文のうち、どの文を根拠にするべきか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

4。

① つやのある黒い羽に敏捷な身のこなし、実に見た目のいい若者だったから、南の国にわたる前、最後の骨休めをしなから翼の力をたくわえているあたしたちの群れに、問題なく受け入れられた。

② あたしの友だちの中にも彼に興味を示すものは何羽もいた。

③ でも、彼がいつも夢のようなことばかり語るものだから——今まで見てきた北の土地について、これから飛んでいく南の国について、遠くを見るようなまなざしで語るばかりだったから、みんなそのうち興味をなくしてしまった。

④ とはいえ嫌われるほどのことではないし、厳しい渡りの旅をともしする仲間が多いに越したことはないので、彼はあたしたちとそのまま一緒に過ごしていた。

問3

傍線部B「わからないさ」及び傍線部C「わからない」について、「彼」と「あたし」はそれぞれどのような思いを抱いていたか。その説明として最も適当なものを、傍線部Bについては次の【I群】の①～③のうちから、傍線部Cについては後の

【II群】の①～③のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

5

6

【I群】

5

① 南の土地に渡って子孫を残すというツバメとしての生き方に固執し、生活の苦しさから救われようと「王子」の像にすがる町の人々の悲痛な思いを理解しない「あたし」の利己的な態度に、軽蔑の感情を隠しきれない。

② 町の貧しい人々を救おうとする「王子」と、命をなげうってそれを手伝う自分を理解するどころか、その行動を自己陶酔だと厳しく批判する「あたし」に、これ以上踏み込まないと嫌気がさしている。

③ 群れの足並みを乱させまいとどう喝する「あたし」が、暴力的な振る舞いに頼るばかりで、「王子」の行いをどれほど熱心に説明しても理解しようとする態度を見せないことに、裏切られた思いを抱き、失望している。

【II群】

6

① 「王子」の像を金や宝石によって飾り、祭り上げる人間の態度は、ツバメである「あたし」にとっては理解できないものであり、そうした「王子」に生命をかけて尽くしている「彼」のこともまたいまだに理解しがたく感じている。

② 無謀な行動に突き進んでいこうとする「彼」を救い出す言葉を持たず、暴力的な振る舞いでかえって「彼」を突き放してしまったことを悔い、これから先の生活にもその後悔がついて回ることを恐れている。

③ 貧しい人々を救うためというより、「王子」に尽くすただけに「彼」は行動しているに過ぎないと思っているが、「彼」自身の拒絶によってふたりの関係に介入することもできず、割り切れない思いを抱えている。

問4 この小説は、オスカー・ワイルド「幸福な王子」のあらすじの記載から始まっている。この箇所(X)とその後の文章(Y)との

関係はどのようなものか。その説明として適当なものを、次の①～⑥のうちから二つ選べ。解答番号は 7。

- ① Xでは、神の視点から「一羽のツバメ」と「王子」の自己犠牲的な行為が語られ、最後には救済が与えられることで普遍的な博愛の物語になっている。ツバメたちの視点から語り直すYは、Xに見られる神の存在を否定した上で、「彼」と「王子」のすれ違いを強調し、それによってもたらされた悲劇へと読み替えている。
- ② Xの「王子」と「一羽のツバメ」の自己犠牲は、人々からは認められなかったものの、最終的には神によってその崇高さを保証される。Yでも、献身的な「王子」に「彼」が命を捨てて仕えただろうことが暗示されるが、その理由はいずれも、「あたし」によって、個人的な願望に基づくものへと読み替えられている。
- ③ Yでは、「あたし」という感情的な女性のツバメの視点を通して、理性的な「彼」を批判し、超越的な神の視点も破棄している。こうして、「一羽のツバメ」と「王子」の英雄的な自己犠牲が神によって救済されるというXの幸福な結末を、「あたし」の介入によって、救いのない悲惨な結末へと読み替えている。
- ④ Yには、「あたし」というツバメが登場し、「王子」に向けた「彼」の言動の不可解さに言及する「あたし」の心情が中心化されている。「一羽のツバメ」と「王子」が誰にも顧みられることなく悲劇的に終わるXを、Yは、「彼」と家庭を持ちたいという「あたし」の思いの成就を暗示する恋愛物語へと読み替えている。
- ⑤ Xは、愚かな人間たちによって捨てられた「一羽のツバメ」の死骸と「王子」の心臓が、天使によって天国に迎えられるという逆転劇の構造を持っている。その構造は、Yにおいて、仲間によって見捨てられた「彼」の死が「あたし」によって「王子」のための自己犠牲として救済されるという、別の逆転劇に読み替えられている。

⑥ Xでは、貧しい人々に分け与えるために宝石や金箔を外すという「王子」の自己犠牲的な行為は、「二羽のツバメ」の献身とともに賞賛されている。それに対して、Yでは、「王子」が命を捧げるように「彼」に求めつつ、自らは社会的な役割から逃れたいと望んでいるとして、捨てるという行為の意味が読み替えられている。

問5 次の【I群】のa～cの構成や表現に関する説明として最も適当なものを、後の【II群】の①～⑥のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 8 ～ 10。

【I群】

- a 1～7行目のオスカー・ワイルド作「幸福な王子」の記載 8
- b 12行目「彼がいつも夢のようなことばかり語るものだから——」の「——」 9
- c 56行目以降の「あたし」のモノローグ（独白） 10

【II群】

- ① 最終場面における物語の出来事の時間と、それを語っている「あたし」の現在時とのずれが強調されている。
- ② 「彼」の性質を端的に示した後で具体的な例が重ねられ、その性質に注釈が加えられている。
- ③ 断定的な表現を避け、言いよどむことで、「あたし」が「彼」に対して抱く不可解さが強調されている。
- ④ 「王子」の像も人々に見捨てられるという、「あたし」にも想像できなかった展開が示唆されている。
- ⑤ 「あたし」の、「王子」や「彼」の行動や思いに対して揺れる複雑な心情が示唆されている。
- ⑥ 自問自答を積み重ねる「あたし」の内面的な成長を示唆する視点が加えられている。

国語の問題は次に続く。

第4問 『源氏物語』は書き写す人の考え方によって本文に違いが生じ、その結果、本によって表現が異なっている。次の【文章

Ⅰ】と【文章Ⅱ】は、ともに『源氏物語』（桐壺の巻）の一節で、最愛の后である桐壺の更衣を失った帝のもとに、更衣の母から故人の形見の品々が届けられた場面である。【文章Ⅰ】は藤原定家が整えた本文に基づき、【文章Ⅱ】は源光行・親行親子が整えた本文に基づいている。また、【文章Ⅲ】は源親行によって書かれた『原中最秘抄』の一節で、【文章Ⅱ】のように本文を整えたときの逸話を記している。【文章Ⅰ】～【文章Ⅲ】を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

【文章Ⅰ】

かの贈りもの御覽ぜさす。^(注1)亡き人の住みか尋ねいでたりけむ、^(ア)しるしの釵ならましかば、と思ほすも、いとかひなし。

(イ) 尋ねゆく幻もがなつてにても魂のありかをそこ知るべく

絵に描ける楊貴妃の容貌は、^(注2)いみじき絵師と言へども、筆限りありければ、いと匂ひ少なし。^(注3)太液の芙蓉、未央の柳も、げに通ひたりし容貌を、唐めいたるよそひはうるはしうこそありけめ、なつかしうらうたげなりしを思し出づるに、花鳥の色にも音にも、よそふべきかたぞなき。

【文章Ⅱ】

かの贈りもの御覽ぜさす。亡き人の住みか尋ねいでたりけむ、しるしの釵ならましかば、と思すも、いとかなし。
尋ねゆく幻もがなつてにても魂のありかをそこ知るべく

絵に描ける楊貴妃の容貌は、いみじき絵師と言へども、筆限りありければ、いと匂ひ少なし。太液の芙蓉も、げに通ひたりし容貌・色あひ、唐めいたりけむよそひはうるはしう、けうらにこそはありけめ、なつかしうらうたげなりしありさまは、女郎花の風になびきたるよりもなよび、撫子の露に濡れたるよりもらうたく、なつかしかりし容貌・気配を思し出づるに、花鳥の色にも

音にも、よそふべきかたぞなき。

(注) 1 亡き人の住みか尋ねいでたりけむ、しるしの釵——唐の玄宗皇帝と楊貴妃の愛の悲劇を描いた漢詩「長恨歌」による表現。玄宗

皇帝は、最愛の後であった楊貴妃の死後、彼女の魂のありかを求めるように道士(幻術士)に命じ、道士は楊貴妃に会った証拠に金の釵を持ち帰った。

2 絵——更衣の死後、帝が明けても暮れても見ていた「長恨歌」の絵のこと。

3 太液の芙蓉、未央の柳——太液という池に咲いている蓮の花と、未央という宮殿に植えられている柳のことで、いずれも美人の形容として用いられている(「長恨歌」)。

【文章Ⅲ】

亡父光行、昔、五条三品(注1)にこの物語の不審の条々を尋ね申し侍りし中に、当巻に、「絵に描ける楊貴妃の形は、いみじき絵師と言へども、筆限りあれば、匂ひ少なし。太液の芙蓉、未央の柳も」と書いて、「未央の柳」といふ一句を見せ消(注2)ちにせり。これによりて親行を使ひとして、

「楊貴妃をば芙蓉と柳とにたとへ、更衣をば女郎花と撫子にたとふ、みな二句づつにてよく聞こえ侍るを、御本(注3)、未央の柳を消たれたるは、いかなる子細の侍るやらむ」

と申したりしかば、

「我(注4)はいかでか自由の事をばしるべき。行成卿(注4)の自筆の本に、この一句を見せ消(注4)ちにし給ひき。紫式部同時の人に侍れば、申し合はする様こそ侍らめ、とてこれも墨を付けては侍れども、いぶかしさにあまたたび見しほどに、若菜(注5)の巻にて心をえて、おもしろくみなし侍るなり」

と申されけるを、親行、このよしを語るに、

「若菜の巻には、いづくに同類侍るとか申されし」
と言ふに、

「それまでは尋ね申さず」

と答へ侍りしを、さまざま恥ぢしめ勘当し侍りしほどに、親行こもり居て、若菜の巻を数遍ひらきみるに、その意をえたり。
(注6) 六条院の女試楽、女三の宮、人よりちいさくうつくしげにて、ただ御衣のみある心地す、にほひやかなるかたはをくれて、いとあてやかにまめかしくて、二月の中の十日ばかりの青柳のしだりはじめたらむ心地して、とあり。柳を人の顔にたとへたる事あまたなるによりて、(エ) 見せ消ちにせられ侍りしにこそ。三品の和才すぐれたる中にこの物語の奥義をさへきはめられ侍りける、ありがたき事なり。しかあるを、京極中納言入道の家の本に「未央の柳」と書かれたる事も侍るにや。又俊成卿の女に尋ね申し侍りしかば、

「この事は伝々の書写のあやまりに書き入るるにや、あまりに對句めかしくにくいけしたる方侍るにや」と云々。よりて愚本にこれを用いず。

(注) 1 五条三品——藤原俊成。平安時代末期の歌人で古典学者。

2 見せ消ち——写本などで文字を訂正する際、もとの文字が読めるように、傍点を付けたり、その字の上に線を引くなどすること。

3 御本——藤原俊成が所持する『源氏物語』の写本。

4 行成卿——藤原行成。平安時代中期の公卿で文人。書道にすぐれ古典の書写をよくした。

5 若菜の巻——『源氏物語』の巻名。

6 六条院の女試楽——光源氏が邸宅六条院で開催した女性たちによる演奏会。

7 京極中納言入道——藤原定家。藤原俊成の息子で歌人・古典学者。

8 俊成卿の女——藤原俊成の養女で歌人。

問1 傍線部(ア)「しるしの釵ならましかば」とあるが、直後に補うことのできる表現として最も適当なものを、次の①～⑤の

うちから一つ選べ。解答番号は

1

。

- ① いかにうれしからまし
- ② いかにくやすからまし
- ③ いかにくやしからまし
- ④ いかにかしからまし
- ⑤ いかにあぢきなからまし

問2 傍線部(イ)「尋ねゆく幻もがなつてにても魂のありかをそこと知るべく」の歌の説明として適当でないものを、次の①～

⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

2

。

- ① 縁語・掛詞は用いられていない。
- ② 倒置法が用いられている。
- ③ 「もがな」は願望を表している。
- ④ 幻術士になって更衣に会いに行きたいと詠んだ歌である。
- ⑤ 「長恨歌」の玄宗皇帝を想起して詠んだ歌である。

問3 傍線部(ウ)「いかでか自由の事をばしるべき」の解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番

号は 3。

- ① 勝手なことなどするわけがない。
- ② 質問されてもわからない。
- ③ なんとかして好きなようにしたい。
- ④ あなたの意見が聞きたい。
- ⑤ 自分の意見を言うことはできない。

問4 傍線部(エ)「見せ消ちにせられ侍りしにこそ」についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 4。

- ① 紫式部を主語とする文である。
- ② 行成への敬意が示されている。
- ③ 親行の不満が文末の省略にこめられている。
- ④ 光行を読み手として意識している。
- ⑤ 俊成に対する敬語が用いられている。

問5

【文章Ⅱ】の二重傍線部「唐めいたりけむ」思し出づるに」では、楊貴妃と更衣のことが、【文章Ⅰ】よりも詳しく描かれている。この部分の表現とその効果についての説明として、**適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。** 解答番号は 5。

- ① 「唐めいたりけむ」の「けむ」は、「長恨歌」中の人物であった楊貴妃と、更衣との対比を明確にしている。
- ② 「けうらにこそはありけめ」という表現は、中国的な美人であった楊貴妃のイメージを鮮明にしている。
- ③ 「女郎花」が風になびいているという表現は、更衣が幸薄く薄命な女性であったことを暗示している。
- ④ 「撫子」が露に濡れているという表現は、若くして亡くなってしまった更衣の可憐かれんさを引き立てている。
- ⑤ 「○○よりも△△」という表現の繰り返しは、自然物になぞらえきれない更衣の魅力を強調している。

問6 【文章Ⅲ】の内容についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

6

。

- ① 親行は、女郎花と撫子が秋の景物であるのに対して、柳は春の景物であり、桐壺の巻の場面である秋の季節に使う表現としてはふさわしくないと判断した。そこで、【文章Ⅱ】では「未央の柳」を削除した。
- ② 俊成の女は、「未央の柳」は紫式部の表現意図を無視した後代の書き込みであると主張した。そして、俊成から譲られた行成自筆本の該当部分を墨で塗りつぶし、それを親行に見せた。
- ③ 光行は、俊成所持の『源氏物語』では、「未央の柳」が見せ消ちになっていることに不審を抱いて、親行に命じて質問させた。それは、光行は、整った対句になっているほうがよいと考えたからであった。
- ④ 親行は、「未央の柳」を見せ消ちとした理由を俊成に尋ねたところ、満足な答えが得られず、光行からも若菜の巻を読むように叱られた。そこで、自身で若菜の巻を読み、「未央の柳」を不要だと判断した。
- ⑤ 俊成は、光行・親行父子に対しては、「未央の柳」は見せ消ちでよいと言っておきながら、息子の定家には「未央の柳」をはっきり残すように指示していた。それは、奥義を自家の秘伝とするための偽装であった。

国語の問題は次に続く。

第5問

次の【文章Ⅰ】は、殷王朝の末期に、周の西伯が呂尚（太公望）と出会った時の話を記したものである。授業でこれを読んだC組は太公望について調べてみることになった。二班は、太公望のことを詠んだ佐藤一斎の漢詩を見つけ、調べたことを【文章Ⅱ】としてまとめた。【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】を読んで、後の問い（問1〜7）に答えよ。なお、返り点・送り仮名を省いたところがある。

【文章Ⅰ】

呂尚ハ蓋シ嘗シ窮困シ年老イタリ矣。以テ漁釣ヲ奸ム周ヲ西伯ニ西伯將出獵ト。ト之。曰ハク所獲ル非龍ニ非鸞ニ非虎ニ非羆ニ所獲ル霸王之輔ケナリトイテ於是周ニ西伯獵カリス果遇フ太公ニ於渭之陽ニ与語リテ大説ヨク曰ハク自吾先君太公ニ曰ハク『当リテ下有ニ聖人ニ適ユク也。周以テ興ラント』子真ニ是邪カ。吾太公望ムコトヲ子久シト矣。故ニ号シテ之ヲ曰フ太公望ト載セテ与俱歸リ立テ為ス師ト。

(注) 1 奸——知遇を得ることを求める。

2 太公——ここでは呂尚を指す。

3 渭之陽——渭水の北岸。渭水は、今の陝西省を東に流れて黄河に至る川。

4 吾先君太公——ここでは西伯の亡父を指す（なお諸説がある）。

(司馬遷『史記』による。)

佐藤一斎の「太公垂釣の図」について

平成二十九年十一月十三日

愛日楼高等学校二年C組二班

太公垂釣の図

佐藤一斎

謬^{あやま}被^{リテ}文王^ニ載^セ得^テ帰^ラ
 一^{いつ}竿^{かん}風月^{フウゲツ}与^レ心^{シン}違^{たが}
 想^{おも}君^ガ牧^{ぼく}野^や鷹^{やう}揚^{やう}後^ゴ
 夢^ハ在^{ラン}磻^{はん}溪^{けい}旧^{キウ}釣^{てう}磯^き



狩野探幽画「太公望釣浜図」

日本でも太公望が釣りをする絵画がたくさん描かれました。

不本意にも文王によって周に連れていかれてしまい、

釣り竿一本だけの風月という願いとは、異なることになってしまった。

思うに、あなたは牧野で武勇知略を示して殷を討伐した後は、

磻溪の昔の釣磯を毎夜夢に見ていたことであろう。

幕末の佐藤一斎(一七七二～一八五九)に、太公望(呂尚)のことを詠んだ漢詩があります。太公望は、七十歳を過ぎてから磻溪(渭水のほとり)で文王(西伯)と出会い、周に仕えます。殷との「牧野の戦い」では、軍師として活躍し、周の天下を盤石のものとなりました。しかし、その本当の思いは？

C 佐藤一斎の漢詩は、【文章Ⅰ】とは異なる太公望の姿を描きました。

ある説として、この漢詩は佐藤一斎が七十歳を過ぎてから昌平坂学問所(幕府直轄の学校)の教官となり、その時の自分の心境を示しているとも言われています。

〈コラム〉

太公望Ⅱ釣り人？

文王との出会いが釣りであったことから、今では釣り人のことを「太公望」と言います。

【文章Ⅰ】の、西伯が望んだ人物だったからという由来とは違う意味で使われています。

問 1 波線部(1)「嘗」・(2)「与」の読み方として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解

答番号は ・ 。

(1) 「嘗」

⑤	④	③	②	①
なんぞ	なめて	すなはち	ころみに	かつて

(2) 「与」

⑤	④	③	②	①
ともに	すでに	ここに	あづかり	あたへ

問2 二重傍線部(ア)「果」・(イ)「当」の本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ

一つずつ選べ。解答番号は ・ 。

- (ア) 「果」
-
- ⑤ 約束どおりに
④ やつとのもので
③ 思いがけず
② 案の定
① たまたま

- (イ) 「当」
-
- ⑤ たたくだけだ
④ きつとくだろう
③ どうしてくしないのか
② ちよどくのようにだ
① ぜひともくすべきだ

問3 傍線部A「西伯将出獵ト之」の返り点の付け方と書き下し文との組合せとして最も適当なものを、次の①～⑤の

うちから一つ選べ。解答番号は 5。

- | | | |
|---|--|--|
| ① | 西伯将 _ニ 出 _レ 獵 _ト 之 | 西伯将に獵 _か りに出 _{いで} て之 _を ト _{うらな} ふべし |
| ② | 西伯将出 _レ 獵 _ト 之 | 西伯の将出 _{いで} て獵 _り して之 _を ト _ふ |
| ③ | 西伯将出 _レ 獵 _ト 之 | 西伯将 _は た獵 _り に出 _{いで} て之 _を ト _ふ か |
| ④ | 西伯将 _レ 出 _レ 獵 _ト 之 | 西伯獵 _り に出 _い づるを將 _{ひま} ゐ _て 之 _を ト _ふ |
| ⑤ | 西伯将 _ニ 出 _レ 獵 _ト 之 | 西伯将に出 _{いで} て獵 _り せんとし之 _を ト _ふ |

問4 傍線部B「子真是邪」の解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

6

- ① 我が子はまさにこれにちがいない。
- ② あなたはまさにその人だろうか、いや、そんなはずはない。
- ③ あなたはまさにその人ではないか。
- ④ 我が子がまさにその人だろうか、いや、そんなはずはない。
- ⑤ 我が子がまさにその人ではないか。

問5 【文章Ⅱ】に挙げられた佐藤一斎の漢詩に関連した説明として正しいものを、次の①～⑥のうちから、すべて選べ。解

答番号は 7。

- ① この詩は七言絶句という形式であり、第一、二、四句の末字で押韻している。
- ② この詩は七言律詩という形式であり、第一句と偶数句末で押韻し、また対句を構成している。
- ③ この詩は古体詩の七言詩であり、首聯しゅれん、頷聯がんれん、頸聯けいれん、尾聯びれんからなっている。
- ④ この詩のような作品は中国語の訓練を積んだごく一部の知識人しか作ることができず、漢詩は日本人の創作活動の一つにはならなかった。
- ⑤ この詩のような作品を詠むことができたのは、漢詩を日本独自の文学様式に変化させたからで、日本人は江戸時代末期から漢詩を作るようになった。
- ⑥ この詩のように優れた作品を日本人が多く残しているのは、古くから日本人が漢詩文に親しみ、自らの教養の基礎としてきたからである。

問6

【文章Ⅱ】の



で囲まれた〈コラム〉の文中に一箇所誤った箇所がある。その誤った箇所を次のA群の①～③のうち

から一つ選び、正しく改めたものを後のB群の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は

8

9

A群

8

- ① 文王との出会いが釣りであった
- ② 釣り人のことを「太公望」と言います
- ③ 西伯が望んだ人物だったから

B群

9

- ① 文王がトうらないをしている時に会った
- ② 文王が釣りをしている時に会った
- ③ 釣りによって出世しようとする人のことを「太公望」と言います
- ④ 釣り場で会った友のことを「太公望」と言います
- ⑤ 西伯の先君太公が望んだ人物だったから
- ⑥ 西伯の先君太公が望んだ子孫だったから

問7

【文章Ⅱ】の傍線部C「佐藤一斎の漢詩は、【文章Ⅰ】とは異なる太公望の姿を描きました。」とあるが、佐藤一斎の漢詩からうかがえる太公望の説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 10。

- ① 第一句「謬りて」は、文王のために十分に活躍することはできなかったという太公望の控えめな態度を表現している。
- ② 第一句「謬りて」は、文王の補佐役になって殷を討伐した後の太公望のむなしさを表現している。
- ③ 第二句「心と違ふ」は、文王に見いだされなければ、このまま釣りをするだけの生活で終わってしまったという太公望の回想を表現している。
- ④ 第二句「心と違ふ」は、殷の勢威に対抗するために文王の補佐役となったが、その後の待遇に対する太公望の不満を表現している。
- ⑤ 第四句「夢」は、本来は釣磯で釣りを楽しんでたかったという太公望の望みを表現している。
- ⑥ 第四句「夢」は、文王の覇業が成就した今、かなうことなら故郷の磻溪の領主になりたいという太公望の願いを表現している。